

エコアクション21



環境省

エコアクション21
認証番号0005925

環境経営レポート



株式会社 上原産業

(活動期間：2023年7月1日～2024年6月30日)

【発行：2024/8/9】

目次	1. 組織の概要	-頁1
	2. 環境経営方針	-頁2
	3. 活動組織及び役割分担	-頁3
	4. 環境経営目標と実績	-頁4
	5. 活動計画及び結果、評価	-頁5
	6. 適合法令と順守確認	-頁6
	7. 代表者の見直し	-頁7
	8. エコ活動の紹介	-頁8
	9. 活動事例	-頁9
	10. SDGs推進企業	-頁10

1. 組織の概要

(1) 名称及び代表者名

事業所名	株式会社 上原産業
代表取締役	代表取締役 上原正信

(2) 所在地

本社・事務所	〒381-2414
住所	長野県長野市信州新町牧田中2041

(3) 環境管理責任者・連絡先

環境管理責任者：古山 学
連絡先 TEL：026-262-3505
FAX：026-262-3253
E-mail：gaku@ueharasangyo.co.jp

(4) 事業内容

総合建設業 <長野県知事許可(特-3)第12260号 有効期限 令和8年5月16日まで>
・土木工事業、舗装工事、上下水道工事業、給排水衛生設備工事業

産業廃棄物収集運搬業 <長野県知事許可 2008102763>
令和5年3月13日更新 有効期限 令和10年3月12日

《許可品目》 廃プラ 木くず 金属くず がれき類 ガラスくず コンクリートくず及び陶磁器くず
産業廃棄物の（積替え保管を除く）収集運搬 （特別管理産業廃棄物を除く）
運搬車両 ダンプ 4t/3t/3t/軽トラック(ダンプ仕様)各1台
産業廃棄物収集運搬量 18.3 t

(5) 事業の規模

創業	： 1981年（43年）
資本金	2,000 万円
売上高	23,035 万円（2023年度）
	288.45 m ²
従業員	9 名

(6) 事業年度

2023年7月～ 2024年6月

(7) 認証登録の範囲

本社/資材倉庫	全組織、全活動
---------	---------

-1/10-



環 境 経 営 方 針

《基本理念》

株式会社上原産業は、地球環境の保全とその重要性を認識し、建設工事の事業活動における環境負荷の低減を図るために積極的に環境保全活動に取り組みます。

《行動指針》

1. 電力・燃料の消費に伴う二酸化炭素排出量の抑制に取り組みます。
2. 廃棄物の発生を抑制するとともに、適正な処理とリサイクルの促進に取り組みます。
3. 水資源の使用量抑制に取り組みます。
4. グリーン調達の推進に取り組みます。
5. 環境に配慮した施工法や建設機械の採用により、環境への負荷を低減し環境の保全と改善に努めます。
6. 環境関連法令の遵守に取り組みます。
7. 環境経営方針の継続的改善に努め、全社員に周知するとともに社外にも公表します。

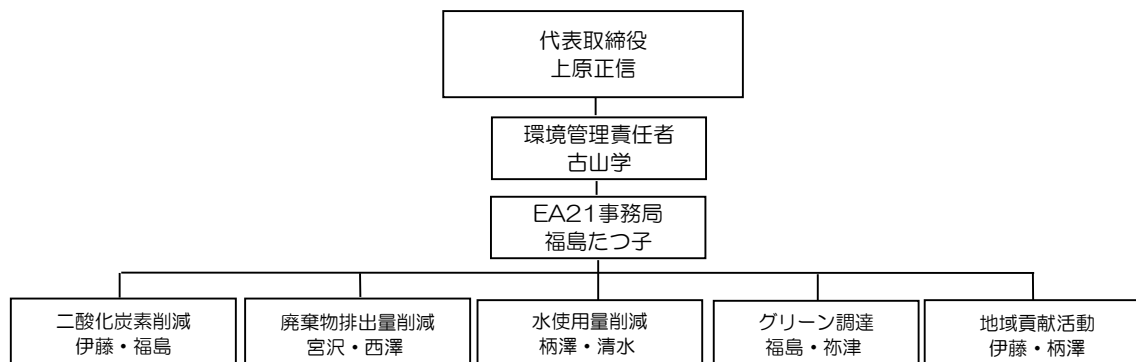
制定日 2009年11月 1日

改定日 2021年 2月 1日

株式会社 上原産業
代表取締役 上原正信

3. 実施体制

1) 組織図



※ 各テーマ別のグループを結成、責任者(推進委員)を任命して、改善活動を推進

2) 責任及び権限

代表者	- 環境経営システムに関する全ての責任と運用についての権限を持つ。 - システムの構築/運用及び管理に必要な資源を用意する。 - 活動に必要な責任者を任命し、体制を構築する - 環境経営方針及び目標の設定/見直しと従業員へ伝達/周知する。 - 代表者による全体の評価と見直し、改善を指示する。
管理責任者	- 法規制等の取りまとめを行い、遵守状況をチェックする。 - 問題点の是正・予防措置に対する指示と改善や見直しに必要な措置を行う。 - テーマ別の環境活動計画を確認し、承認する。 - 環境関連の外部コミュニケーションの窓口。 - 環境活動レポートの作成、公開(社内に備付けと地域事務局への送付)
事務局	- 環境管理責任者の補佐、推進の事務局。 - 環境への負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェック原案の作成。 - 環境目標・活動計画原案の作成及び実績の収集と取りまとめ
推進委員会	- 環境管理責任者の指示のもと、環境経営システムの運用を行う。 - 方針に基づき、目標及び活動計画の策定を行い、承認を得る。 是正処置又は予防処置を実施、結果を環境管理責任者に報告する。 - 関連法規、等及び最新情報の収集と実行、順守確認のまとめ及び管理。 - 活動の実績結果を収集、環境管理責任者に報告する。
項目別責任者	- 自部門に関連する環境目標及び環境活動計画の実施及び達成状況の報告。 - 自部門の従業員に対する必要な教育訓練の実施。 - 取組に必要な手順書作成及び運用管理。 - 緊急事態への対応のための手順書作成、テスト・訓練の実施と記録。 - 自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施。
従業員	- 環境方針、環境目標の理解と定められた活動計画に従い業務を遂行する。 - 環境負荷の低減、品質向上、安全の確保と業務改善の提案 - 異常時、緊急時の報告

4. 環境目標と実績の推移

環境目標・取り組みの基本方針

環境経営方針に基づき、以下の数値目標を設定して環境保全活動を推進する。

1) 環境中期数値目標と結果

第42期

※上段計画、下段実績と評価

環境目標		過去三年平均 (2019-2021)基準年	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
1	CO2排出量 ※1 (Kg-CO2)	73,450	目標 72,716 1%	71,981 2%	71,247 3%	70,512 4%	69,778 5%	69,043 6%
			実績 74,227 ×	63,349 ○	50,554 ○			
2	電気使用量の削減 (kWh)	25,169	目標 24,917 1%	24,666 2%	24,414 3%	24,162 4%	23,911 5%	23,659 6%
			実績 22,711 ○	22,956 ○	22,196 ○			
3	ガソリン使用量の削減 (ℓ)	8,570	目標 8,484 1%	8,399 2%	8,313 3%	8,227 4%	8,142 5%	8,056 6%
			実績 8,505 ×	7,647 ○	8,786 ×			
4	軽油使用量の削減 (ℓ)	15,423	目標 15,269 1%	15,115 2%	14,960 3%	14,806 4%	14,652 5%	14,498 6%
			実績 19,791 ×	12,981 ○	7,387 ○			
5	灯油使用量の管理 (ℓ)	628	維持管理					
			計画 495	745	1060			
6	LPG使用量の管理 (kg)	71	維持管理					
			計画 79	75	74			
7	一般廃棄物の管理 (kg)	199	維持管理					
			計画 195	115	185			
8	産業廃棄物削減 (kg)	306,875	計画 303,806 1%	300,738 2%	297,669 3%	294,600 4%	291,531 5%	288,463 6%
			実績 254,325 ○	277,000 ○	217,425 ○			
9	水使用量の管理 (㎡)	111	維持管理					
			計画 114	109	158			

※1 CO2排出量産出基準

購入電力排出係数は、中部電力2021年調整後 0.388 kg-CO2/kWhを使用

2) 環境中期数値目標と結果の評価

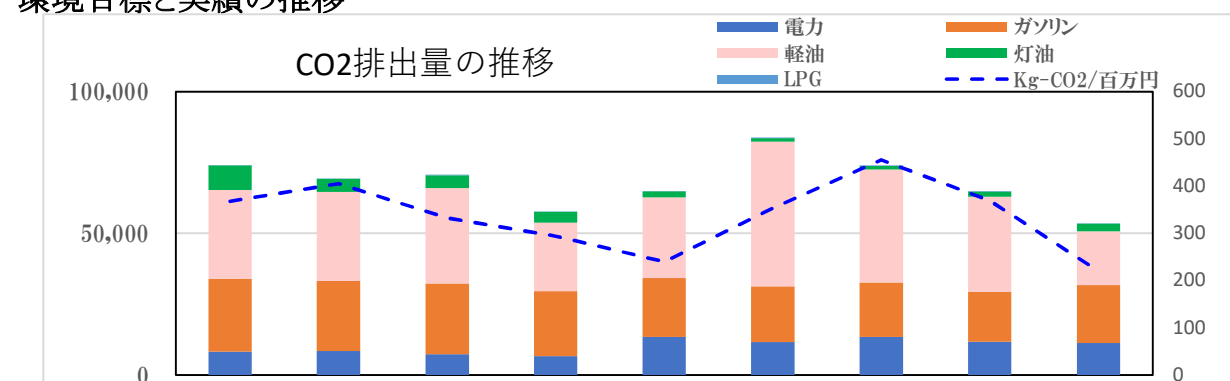
- ・ 今期も全体的に目標値まで削減に向かうことができた。月別でも概ね目標値をクリアできている。

今期も工事の早期竣工による化石燃料を削減できたことが、二酸化炭素排出量や軽油使用量の大幅な削減につながったとみられる。

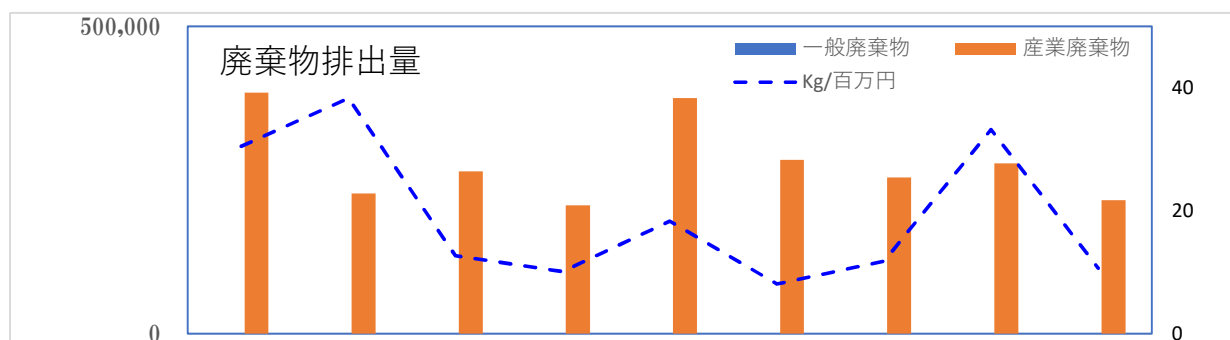
また、今期は下請業者も入った工事もあり、使用燃料の量や費用が不透明な部分もある為、透明化にすることが今後の課題となった。

来期も計画的な施工をできるよう社員一人一人が目標達成にむけて事業活動と共に、2050年ゼロカーボンに向け、エコアクションに取り組む。

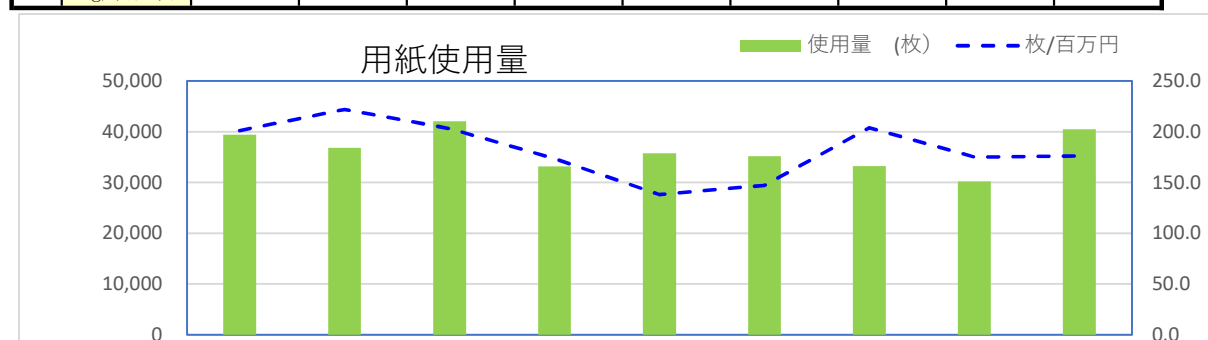
環境目標と実績の推移



項目	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
排出量(kg)	72,077	67,281	68,898	56,216	61,822	84,301	74,227	63,349	50,554
Kg-CO2/百万円	367.7	405.3	332.8	294.3	239.6	353.1	455.4	369.0	220.0
電力(kwh)	16,268	16,676	14,455	13,046	26,382	22,711	26,413	22,956	22,196
ガソリン(ℓ)	11,057	10,632	10,750	9,895	8,949	8,505	8,256	7,647	8,786
軽油(ℓ)	12,149	12,173	13,060	9,386	11,017	19,791	15,462	12,981	7,387
灯油(ℓ)	3,489	1,870	1,803	1,537	890	499	495	745	1,060
LPG(kg)	24.5	24.4	52.3	48.9	59.0	73.9	79.0	75.1	74.0

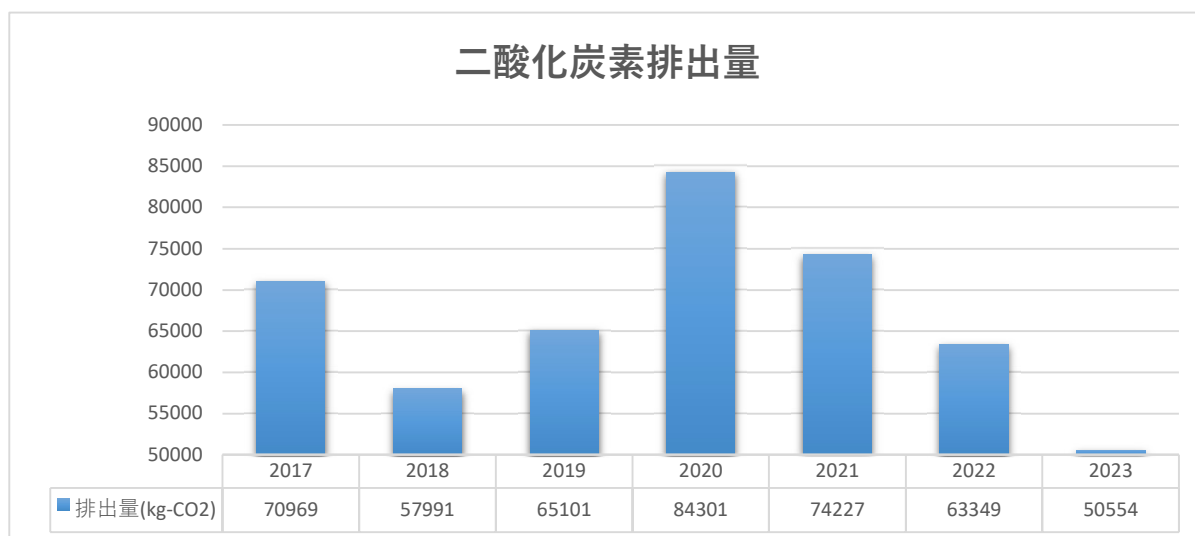


項目	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
一般廃棄物	270	197	197	125	212	190	195	115	185
産業廃棄物	392,000	228,000	264,000	209,000	383,300	283,000	254,325	277,000	217,425
Kg/百万円	30.5	38.3	12.7	10.1	18.3	8.1	11.8	33.2	10.7

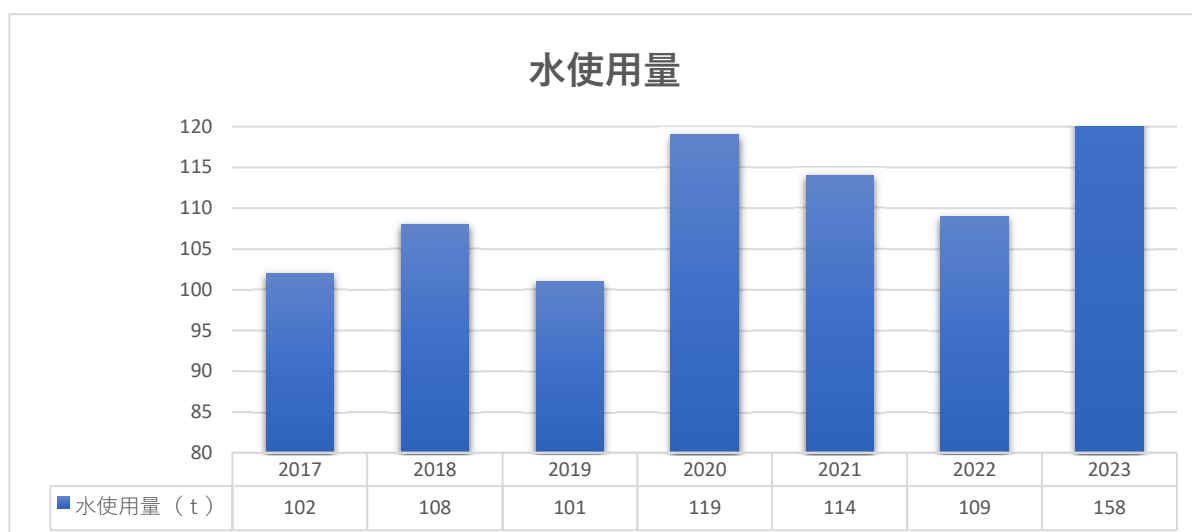
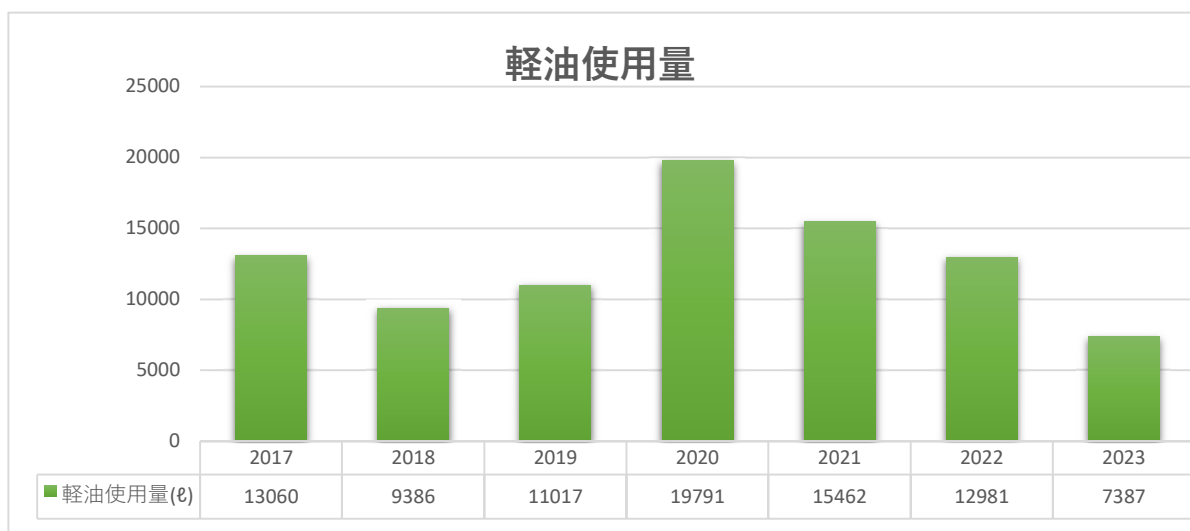
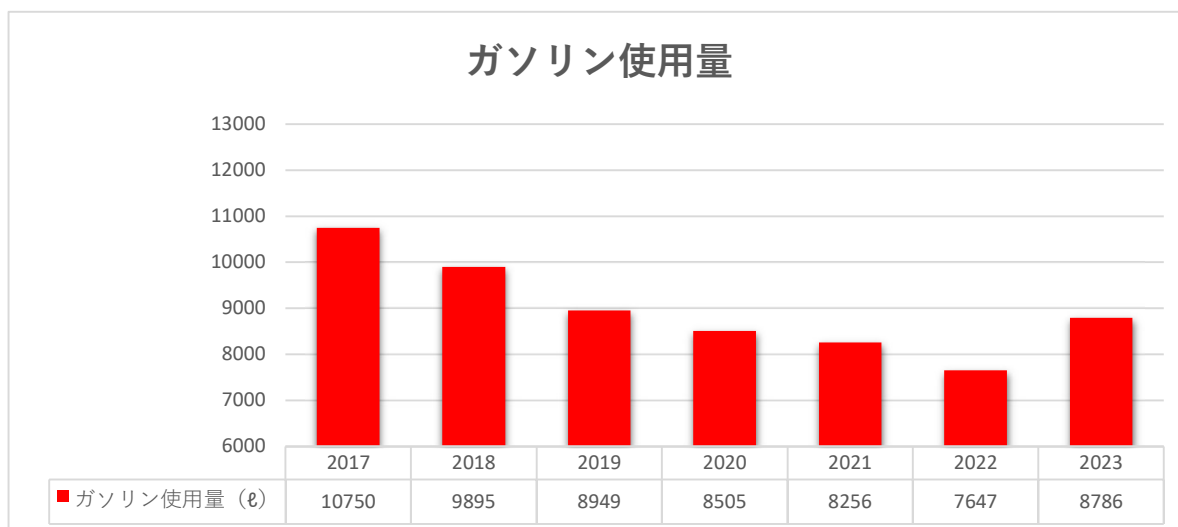


項目	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
使用量 (枚)	39,413	36,828	42,032	33,150	35,729	35,177	33,228	30,187	40,487
枚/百万円	201.1	221.9	203.1	173.6	138.0	147	204	175	176

エネルギー別棒グラフ



エネルギー別棒グラフ



5. 活動の結果と評価、次年度の取り組み

◎よくできた ○まあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

目標	活 動 計 画	評価	取 組 の 結 果	次年度の取組
二酸化炭素排出量の削減	1. 電力使用量の削減	◎	例年並みではあるが、使用量が減少している。節電意識が定着している。	引き続き、節電の継続と推進をおこない、社員の節電意識向上を図る。
	・昼休みの節電(消灯)	◎		
	・エアコンの温度設定冷房26度、暖房20度	○		
	・OA機器/パソコン不使用時のスイッチOFF	○		
	・エアコンの定期クリーニング	△		
	・冬季夜間のエアコン設定温度17℃にする	◎		
	2. 燃料使用量の削減	△	エコドライブが定着しているが、今期は遠方の現場が多く、ガソリン使用量が増えた。	遠方の現場多い中でも、継続してエコドライブなどの推進を行っていく。
	・不要なアイドリングの禁止	○		
	・エコドライブ10の実施(急の付く運転禁止)	◎		
	・タイヤ圧のチェック、交換(夏/冬、摩耗)	○		
	・エアコンの使用を控える	○		
	・計画的運航ルートで行動、忘れ物を無くす	○		
	・社有車の日常点検、従業員車2回/年	○	軽油使用量が減少したが、工種による場合や工事の早期竣工が削減の要因となった。	引き続き、削減に取り組むとともに、下請業者の燃料の使用量を透明化するのが課題となった。
	・設備/機器、エコ車両など、省エネ機器購入	◎		
	・冬期の灯油暖房器具使用量の削減	△		
	3. LPG使用量の削減	○	使用量は平年並みであった	引き続き使用量を注視する
	・夏季の手洗いは水使用	◎		
	・使用量、使用料金の把握と掲示	○		
廃棄物削減	4. 一般廃棄物の削減	◎	廃棄物の分別の徹底ができている。廃プラスチック類の排出量は例年並みであった。	一般廃棄物の削減に伴い、分別の徹底やミスプリントをなくす
	・両面印刷/再生利用の促進	◎		
	・メール/Faxでペーパーレス化の推進	◎		
	・計量と分別状況の点検	○		
	・段ボール、紙類を包装時に再利用	○		
節水	5. 水使用量削減	△	例年に比べると重機の洗車が多く、水使用量が増加した。	引き続き使用量を注視する。
	・雨水を洗車時に利用、洗車頻度の見直し	◎		
	・配管の定期点検	○		
G調達	6. グリーン調達活動	◎	積極的に購入できている。	継続してグリーン調達をしていく。
	・エコマーク商品の調査と購入	○		
	・対象品に限らず環境配慮品の優先購入	○		
社会貢献	7. 環境保全活動の推進	◎	近隣の除草作業や除雪、緊急処理に対応できた。	継続して社会貢献(地域)に取り組む。
	・地域の除雪/草刈り作業への積極的参加	◎		
業務改善	8. 現場業務の環境貢献	○	常に現場や周辺の美化に取り組んでいる。	現場単位で創意工夫をし、継続して現場や現場周辺の美化に取り組む。
	・身の回り/現場の3S	○		
	・現場周辺の清掃/除草	○		

【活動の評価】

前期よりも各エネルギー使用量が、概ね減少傾向にある。
 社員のエコアクションへの意識が高いと思われる。社会貢献も積極的に行えた。
 軽油使用量が大幅に減少したが、工種や早期竣工が削減に至った。

6. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価

(1) 当社に適用される法規制等と現在までの遵守状況

当社の業務に適用となる主な環境関連法規とその主な内容、

注) チェック欄…○：遵守 ×：不遵守 ✓：該当なし確認 (―：判断なし)

法規制等の名称	適用される事項 (施設、物質、事業活動)	証拠書類、等	判定
廃棄物処理法	一般廃棄物、産業廃棄物（金属くず、廃プラ、廃油、焼却灰など）の適正処理	契約書・許可書	○
		(電子) マニフェスト	○
建設リサイクル法	廃棄物のリサイクル/有効利用	計画書/現場掲示確認	○
水質汚濁防止法	排水管理と事故時の報告	管理表/届出書	○
浄化槽法	届出/定期点検	定期点検表	○
騒音規制法	特定地域の作業時の届出/監視	届出書	✓
振動規制法	特定建設作業の届出	届出書	✓
オフロード法	特定特殊自動車の使用規制	作業日報	○
フロン排出抑制法	フロン類使用機器の簡易点検	点検表	○
	第1種特定製品の修理・処分	引取証明書	○
	漏洩量(1,000ton-co2以上)時の届出	届出書	○
消防法(危険物)	灯油の防油提、シンナーの管理	現地点検記録	○
長野市公害防止条例	工事等における公害防止	施工計画書/点検表	○
労働安全衛生法	使用化学物質のSDS入手と掲示	SDS表示	✓
家電リサイクル法	特定家庭用機器が廃棄物となったものの対応(事務所及び家屋等解体工事時)	産業廃棄物処理法に準ずる。	✓
大気汚染防止法	既存建築物等におけるアスベスト含有建材	既存建築物等におけるアスベスト含有建材の適正撤去・処分に係る手続き	✓
排出ガス対策型建設機械指定制度(国土交通省)	建設機械	排出ガス基準値を満たした建設機械の使用	○
低騒音型・低振動型建設機械指定制度(国土交通省)	建設機械	騒音・振動が相当程度軽減された建設機械の使用	○
建設副産物適正処理推進要綱	建設廃棄物と建設発生土	建設発生土と建設廃棄物の適正な処理等に係る総合的な対策を適切に実施するための基準	○

(2) 違反、訴訟等の有無

・環境関連法規等は最新のものと確認し、遵守チェックリストにより、確実に法規を遵守していることを確認しました。

過去3年間、関係各機関からの指摘・指導及び訴訟もありませんでした。

7. 経営者の見直し評価と指示

【取り組みの評価】

1.環境方針への取組

- ・方針は適切であると判断し、このまま継続してエコアクションを行う。

2.環境目標と活動の達成状況

- ・全体的に削減傾向にあり、今期も概ね削減目標を達成できている。
各エネルギーに対し、積極的にエコアクションが行われており、社員の環境に対する意識が高いといえる結果となった。

3.環境経営活動に対する組織

- ・特に不具合はないようなので、現在の組織で運用をし環境保全活動に取り組む。

4.環境経営システム

- ・特に不具合はないようなので、このまま運用していく。

【今後の取り組み】

例年、工事受注量や工種により削減結果の変動は仕方ない部分もあるが
いかに削減できるかを楽しんで、エコアクションに取り組んでほしい。
その為にも引き続き、エコアクションの推進をおこなう。
2050年のゼロカーボンに向けて、自社やステークホルダーが共にエコアクションに
取り組んでいけるよう環境経営活動に取り組んでいきましょう。

株式会社 上原産業

代表取締役 上原 正信

8. エコ活動の紹介

設備投資



アイドリングストップ3tダンプ



オートアイドリング機能付きバックホウ



応接室も生き茂ってきました。



トイレも節水！



日々消費するものは環境にやさしく！

9. 活動報告

主な地域貢献活動



側溝・道路清掃状況



近隣の除草作業状況



除雪作業状況



倒木の緊急処理

10. 長野県SDGs推進企業

SDGs達成に向けた経営方針

弊社の企業理念にある

「事業活動における環境負荷の低減を図るために、積極的に環境保全活動に取り組む」と、
経営方針にある

「優れた品質と信用をお客様にお届けし、会社の永続的な存続を全社員が目指すとともに
地域社会に貢献する」ことは、SDGsの達成と目的を同じくするものであり、社員一人一人が自覚し
事業活動を行うことにより、SDGsの達成に貢献していきます。

SDGs達成に向けた重点的な取り組み

SDGs達成に向けた重点的な取り組み	2030年に向けた指標	指標の進捗状況
エコアクション21の活動に沿った 事業活動におけるCO ₂ 排出量の削減	CO ₂ 排出量の10%削減 (2019年64666kg ⇒ 2030年58199kg)	2020年度CO ₂ 排出量 84301kg 2021年度CO ₂ 排出量 74227kg 2022年度CO ₂ 排出量 63480kg 2023年度CO ₂ 排出量 50554kg
働き方改革による心身の健康と 生産性の向上	有給休暇取得率UP (2020年35% ⇒ 2030年 ⇒ 80%)	2021年45% 2022年75% 2023年70%
業界の人材不足や情勢に応じた ダイバーシティ経営	2020年高齢者、中途者 計2名採用 ⇒ 2030年10名 (総採用数)	2021年度 アルバイト1名 2023年度 中途採用者 女性1名、男性1名 現在採用数5名



SDGs
REGISTERED PARTNER
NAGANO PREFECTURAL
GOVERNMENT